

日野病院は、本日平成24年10月1日から電子カルテシステムに移行いたします。

このシステム導入には、4点の目的があります。

まず、これからの地域医療連携の充実に欠かせないシステムであるということです。

鳥取大学を中心に「鳥取県医療連携ネットワークシステム」に、この日野病院も参加していますが、この電子カルテシステムの導入により、今後は大学病院を含めた、他の病院とのカルテの相互参照が可能となり、地域間格差の改善ができるものであります。

次に、安心・安全な医療の提供です。

医療の提供においては、現在も十分に注意を払って行っていますが、電子カルテ導入により、さらに二重、三重のチェック体制を敷き、より安心・安全な医療の提供を行うことができると期待しています。

続いて、職種間の連携の強化です。

電子カルテの導入により、同じ患者様の情報を複数の部署のスタッフが同時に確認できるようになりました。

これにより、院内の連携がより強化され、患者様の問題点などを各部署で共有し、同じ目標をもって治療にあたることができるようになります。

最後は、研究への活用です。

今まで、データ分析には莫大な時間と労力が必要でしたが、電子化することにより、必要な数字を瞬時にデータ化・分析できるようになります。

この成果を各学会等で発表し、さらなる医療の向上に役立てることができるようになります。

このことはいずれ、患者様への医療の質の向上に繋がることと期待しております。

日野病院では今後、電子カルテシステムを最大限に活用して、地域の皆様が健康で安心して暮らせるよう努めてまいります。

この電子カルテシステム導入に際し、ご理解とご協力いただきました、構成3町、日野病院組合議会、株式会社ケイズの皆様には、この場をお借りして御礼を申し上げます。

導入当初は、入力作業や移行作業により、患者様には診察待ち時間等でご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程よろしく願いいたします。